

日 時：2026 年 5 月 3 日（日）13:00～13:45

場 所：Zoom によるオンライン会議

出席者：

【理事】青嶋誠(理事長：議長)、

足立浩平、井元清哉、狩野裕、坂本亘、鈴木讓、田畑耕治、富田誠、二宮嘉行、服部聡、  
松井茂之、山本義郎

【連合大会実行委員会】富田誠(委員長)

【連合大会運営委員会】中村智洋(委員長)、山田隆行(副委員長)

【連合大会プログラム委員会】金森敬文(委員長)

【2024 年度理事長】宿久洋

陪席者：

【JJSD 編集委員長】丸山祐造

【監事】樋口知之

【幹事】石岡文生、小池祐太、西山貴弘

会議に先立ち、出席者より順に挨拶が行われた。また、前回の組織委員会の議事録が確認された。

### 審議事項

#### 1. 2026 年度連合大会運営方針について

青嶋委員長より、例年通り、連合大会 3 委員会で検討し、組織委員会に挙げるべき議題が出たら組織委員会で検討するという形で進めていく旨の説明があり、審議の結果、承認された。

#### 2. 2026 年度連合大会 3 委員会における進捗状況について

金森プログラム委員長より、2026 年度連合大会のプログラム編成の進捗状況について、資料に沿って以下の説明がなされた。

- ・ 企画セッションについては 29 件の応募があり、すべて採択された。
- ・ コンペティションセッションの開催方法について説明があった。発表者と座長は対面形式での参加とすることを予定している。
- ・ 連合大会当日のタイムテーブル案について説明があった。また、開催形式案（各セッションにおける講演者・座長・視聴者のオンライン参加の可否）について説明があった。
- ・ プログラム編成の今後のスケジュールについて、例年通りの進行を予定している旨の説明があった。
- ・ 来年度以降の検討事項について説明があった。このうち、講演申込時に「講演予稿の公開を希望しない」オプションを選択した講演について、予稿の公開を全く行わないのではなく、冊子体の講演報告集への掲載はせずに Web 公開のみ行うよう変更する、という点については、技術的に可能であ

れば今年度からの実施を目指すことが確認された。

- ・ プログラム委員会のメンバーについて報告があった。
- ・ 大会会場について、今年初めに3委員長で下見を行った旨が報告された。また、現時点での会場の仮押さえ状況について説明があった。
- ・ チュートリアルセッション・市民講演会・プレナリーセッションの準備状況について説明があった。

富田実行委員長より、実行委員会の準備状況について以下の報告がなされた。

- ・ キャンセル費の関係から、大会開催の1ヶ月前頃を目処に、現在仮押さえしている会場を本契約に移行する予定であるため、会場となる教室等は変更される可能性がある。
- ・ ハイブリッド開催関連の準備は順調に進んでいる。
- ・ 休憩室も昨年並みに用意できる見込みである。
- ・ 懇親会会場については、学内施設を手配する予定であり、副実行委員長が対応している。
- ・ 託児所も手配中であり、今月中旬頃にはWeb ページ上で情報公開できる見込みである。

中村運営委員長より、第三報の準備状況、および予算案について、資料に沿って以下の説明がなされた。

- ・ 第三報については、本日の組織委員会で企画セッションが承認された後、一両日中にアナウンスする予定である。
- ・ 予算案について、4月のメール審議時点から40万円ほど支出額が増額した。内訳は、前回大会時に申し送り事項であったWi-Fi補強代、参加証をオンラインからダウンロードできる機能の追加、および入金・支払いの照合・消込作業の自動化に伴う費用である。
- ・ 予算案全体の支出額について、昨年と比べて会場費が増加した影響等で、昨年から増額している。
- ・ 収入額については、以下の理由で増額し、支出額と概ね同額と見積もっている。
  - ・ 3委員長で相談の上、資料購入費を増額。
  - ・ 参加者数の見積もりを現実的な範囲で増加させたため、参加費収入が増額。
  - ・ 広告費を昨年は低く見積りすぎていたため、例年並みの額に増額。

### 3. その他

特になし。

## 報告事項

### 1. 2026年度の連合大会組織委員会の日程について

石岡幹事より、第2回組織委員会を連合大会最終日の9月10日（木）に横浜市立大学とオンラインを併用したハイブリッド形式で開催予定、第3回組織委員会を12月にオンライン形式で開催予定である旨、報告がなされた。

### 2. その他

特になし。